

令和8年度
(2026年度)

渡日前入学許可制度による
私費外国人留学生入試
学生募集要項

秋田大学総合環境理工学部

渡日前入学許可制度について

「渡日前入学許可制度」とは、日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」（日本国外にて受験したもの）の成績およびその他の出願書類（高等学校の成績、TOEFL等）、により審査を行い、合格者の入学を許可する制度です。

この制度を利用すれば、受験者は日本で試験を受けることなく入学許可を得ることが可能となります。

入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目 次

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 入学時期	1
4. 実施方法	1
5. 入学者選抜の実施教科・科目等	1
6. 出願手続	2
7. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	3
8. 合格者の発表	4
9. 入学手続	4
10. 渡日前入学試験に関する問い合わせ	4
11. ビザ（査証）の取得について	4
12. 入国前結核スクリーニングについて	5
13. 国費外国人留学生の優先配置特別プログラムについて	5
入学後の外国人留学生用宿舎について	6
総合環境工学部の理念・目的	7
各学科・コースの概要	7
教育制度の特徴	8
総合環境工学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	8

添付書類等

- ① 入学志願票・受験票・写真票
- ② 履歴書
- ③ 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書
- ④ 出願書類提出用ラベル

1. 募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
応用化学生物学科	生 物 学 コ ー ス	若 干 名
	有 機・高 分 子 化 学 コ ー ス	
	応 用 化 学 コ ー ス	
環 境 数 物 科 学 科	数 理 科 学・地 球 環 境 学 コ ー ス	
	機 能 デ バ イ ス 物 理 コ ー ス	
社 会 シ ス テ ム 工 学 科	モ ビ リ テ ィ コ ー ス	
	電 気 シ ス テ ム コ ー ス	
	社 会 基 盤 コ ー ス	

注1) 応用化学生物学科への入学者は、入学した学科内の一つのコースへの配属を2年次後期に決定します。

2. 出願資格

次の(1)から(4)のすべてに該当する者

- (1) 日本国籍を有さず、日本国内に居住しない者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（2026年3月31日までに修了見込みの者を含む。）またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCEA資格を有する者
 - ⑥ アメリカ合衆国のWASCまたはACSI、もしくはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国のCISから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（2026年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2025年度（令和7年度）日本留学試験（本学が指定する教科・科目）を受験した者
- (4) 出入国管理および難民認定法に定める「留学」の在留資格を取得できる者

3. 入学時期

本入学試験に合格した者は2026年4月入学となります。

4. 実施方法

書類等審査

入学者の選抜は、提出書類および日本留学試験（2025年6月実施の試験を利用）の結果を審査し、これをもって可否を判断します。

5. 入学者選抜の実施教科・科目等

学 科	コ ー ス	募 集 人 員	個別学力 検査等	日本留学試験の利用科目				
				日本語	総合科目	数学	理科	出題言語
応用化学生物学科	生 物 学 コ ー ス	若干名	書類 審査	○	×	○ (コース 2)	2科目 自由 選択	自由 選択
	有 機・高 分 子 化 学 コ ー ス						物理お よび化 学	
	応 用 化 学 コ ー ス							
環 境 数 物 科 学 科	数 理 科 学・地 球 環 境 学 コ ー ス							
	機 能 デ バ イ ス 物 理 コ ー ス							
社 会 シ ス テ ム 工 学 科	モ ビ リ テ ィ コ ー ス							
	電 気 シ ス テ ム コ ー ス							
	社 会 基 盤 コ ー ス							

注1) ○は利用する科目、×は利用しない科目を表します。

2) 日本留学試験についての照会先

独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457

6. 出願手続

(1) 出願期間 2025年9月5日(金)～9月11日(木) (必着,日本時間厳守)

(2) 出願方法

秋田大学ホームページ「入試情報」(<https://www.akita-u.ac.jp/admission/>) から出願書類をダウンロードし、所要事項を記入したうえで郵送してください。

郵送の際は「出願書類提出用ラベル」をダウンロードし、封筒に貼り付けて送付してください。

出願期間最終日必着とします。

送付先：1-1,Tegata Gakuen-machi Akita-shi 010-8502 Japan

Faculty of Integrated Science and Engineering for Environments, Akita University

(3) 出願書類等

書 類 等	摘 要
①入 学 志 願 票	<p>本学部所定の志願票に下記により記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●志望学科・コース：志望する学科・コース名にチェックをしてください。 ●氏名(ふりがな)：氏名はかい書で正確に記入し、ふりがな(漢字氏名の者はアルファベット表記の欄も記入)をつけてください。 ●写 真 貼 付：所定の枠内に写真を貼ってください。写真は縦4cm×横3cmで正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したものとします。 ●生年月日・性別：生年月日を記入し、男女いずれかを○で囲んでください。 ●国 籍：国籍を記入してください。 ●出 願 資 格：出願資格を記入してください。 ●日本留学試験：日本留学試験(2025年6月)の受験番号および受験地を記入してください。 ●TOEFLまたはTOEICのスコア：TOEFLまたはTOEICのスコアを記入してください。 ●現 住 所 等：出願の時点での現住所等を記入してください。 合格された場合に、合格通知書等を送付するため、受け取ることができる住所等を記入してください。 メールアドレスは入学後も使用するため、出願者本人のメールアドレスを記入してください。
②受 験 票 ・ 写 真 票	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真票に写真(4cm×3cmの大きさで、正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。</p>
③検 定 料	<p>検 定 料：17,000円 振 込 期 間：2025年8月14日(木)～9月11日(木)(日本時間厳守) 支払手数料：送金者負担</p> <p>①お支払い方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記URLにて、まず請求金額およびお支払い元の国を入力し、お支払いの予約を開始します。 [http://akita-u.flywire.com] ・各ステップの指示に従って、資金をフライワイヤーに送金してください。デビットカード/クレジットカードでのお支払いの場合は、カード情報を入力し、自国通貨でお支払いを完了することができます。(お支払い元の国により、追加で現地支払いオプションがある場合もございます。) ・お支払いのステータスおよび大学に着金した際の通知をメールやSMSで受けることができます。また、フライワイヤーアカウントを作成している場合は、アカウントにログインすることで、いつでも支払い状況を確認することができます。 <p>②フライワイヤーカスタマーサポート(24時間対応) E-mail: support@flywire.com W e b: flywire.com/help</p> <p>※検定料を送金した際には、その旨を秋田大学入試課までE-mail (nyushi@jimu.akita-u.ac.jp) で連絡してください。</p> <p>※検定料が不足した場合は書類の不備となり、出願は受け付けません。 この場合検定料は返金しますが、その際の手数料は出願者負担となります。</p> <p>※検定料は出願書類受領後、いかなる理由でも返還しません。また、不合格の場合、または合格者が入学を辞退した場合、検定料は返金されません。</p> <p>※日本国内から検定料を送金する場合は、送金前に秋田大学入試課まで E-mail (nyushi@jimu.akita-u.ac.jp)で連絡して指示を受けてください。その指示を受ける前に送金しないでください。</p>

④推薦書	在学（出身）学校長が作成したもの。
⑤最終学校の卒業（修了）証明書および 学業成績証明書	最終学校の卒業（修了）証明書および学業成績証明書を提出してください。卒業（修了）見込みの者は、卒業（修了）見込証明書および現時点の学業成績証明書を提出してください。 (写しは不可) なお、国際バカロレア資格取得者は同資格証書の写しおよび成績証明書を、アビトゥア資格取得者は一般的大学入学資格証明書の写しを、バカロレア資格（フランス共和国）取得者は同資格証書の写しおよび成績証明書を、GCEA資格取得者は同資格の成績評価証明書を提出してください。
⑥日本留学試験の受験票の写し	独立行政法人日本学生支援機構が実施する2025年度の日本留学試験（第1回）受験票の写しを提出してください。
⑦TOEFL iBT® または TOEIC® Listening and Reading Testのスコアレポート	TOEFL iBT® またはTOEIC® Listening and Reading Testのスコアレポートを提出してください。 [注意] 1. TOEFL iBT® またはTOEIC® Listening and Reading Testのスコアレポートは、2024年12月以降に受験した自己最高点のものを提出してください。TOEIC® Listening and Reading Testの場合は、TOEICのウェブサイトからダウンロードしたデジタル公式認定証をカラー印刷して提出してください。 2. TOEFL iBT® のスコアレポートをEducational Testing Serviceから直送する場合の秋田大学コードは、「7519」です。 3. それぞれのスコアレポートは発行までに時間がかかります。提出が遅れる場合は、出願を認めないことがあります。 4. TOEFL-ITP®, TOEIC® Listening and Reading IPテスト等による代用は認めません。TOEFL iBT® およびTOEIC® Listening and Reading Testの詳細については、試験実施機関へ問い合わせてください。
⑧履歴書	本学部所定の用紙に記入してください。
⑨パスポートの写し、 本国の戸籍抄本または市民権等の証明書	パスポート（国籍を証明する部分）の写し、本国の戸籍抄本または市民権等の証明書のうちいずれか1つを提出してください。

○出願書類のうち、日本語・英語以外で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

ただし、自身で訳したものは認めません。

(4) 出願にあたっての留意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、これを受理しません。
- ② 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 総合環境理工学部の入学を認められた者は2026年3月31日までに「留学」の在留資格を申請していることの確認のできる書類の提出が必要になります。

(5) 受験票の送付について

提出された出願書類等を確認のうえ、受験票をE-mailで送付します。2025年9月22日(月)までに受験票が届かない場合は、必ず本学入試課（E-mail：nyushi@jim.uakita-u.ac.jp）まで問い合わせてください。

7. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、2025年8月19日(火)まで本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨を本学入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課

電話：018-889-2313 (From overseas : Dial international prefix, then 81-18-889-2313)

E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

8. 合格者の発表

下記日時（日本時間）に選考結果を志願者全員にE-mailでお知らせします。

合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。電話による問い合わせには一切応じません。

2025年11月4日(火) 15時以降（予定）

9. 入学手続

(1) 入学手続期間 2025年11月25日(火)～11月28日(金) まで（必着）

(2) 入学手続方法

入学手続は、所定の期間内に入学料等の納付および入学手続書類の提出を行うことにより完了します。なお、入学手続の詳細については合格者に送付される入学手続案内で確認してください。

また、2026年3月下旬の入学関係書類提出期限付近にはできるだけ日本国内に滞在するようにしてください。

(3) 納付金

① 入学料 282,000円（予定額）

② 授業料 前期分 267,900円（年間 535,800円）（予定額）

1) 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2) 納付された入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

3) 入学手続完了後、特別な事情により2026年3月31日(火) までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、所定の手続のうえ、当該授業料相当額を返還します。

(4) その他

① 経済的理由により入学料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。

② 経済的理由により授業料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額、3分の1の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。

③ 提出書類等、詳細については、合格者に送付する入学手続案内によりお知らせします。

④ 入学手続以外の入学関係書類は2026年1月下旬（予定）に送付します。

(5) 留意事項

① 合格者が所定の期日までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

② 複数の大学に入学することは認められていません。本学に合格した者が、他の大学等へ入学しようとする場合は、直ちに下記秋田大学入試課に連絡願います。

10. 渡日前入学試験に関する問い合わせ

出願その他渡日前入学試験に関して問い合わせる場合は、下記E-mailへ質問内容を送信してください。

E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp 秋田大学入試課

11. ビザ（査証）の取得について

外国籍の方が日本国内に90日以上滞在する場合、事前に「日本国査証（以下、「ビザ」という。）」の発給を受けなければなりません。ビザにはいくつかの種類があり、来日理由、身分、地位によって在留資格が決定されます。外国人留学生在が日本の大学で学ぶ場合に適用されるのは「留学」です。ビザ申請は自国の日本国大使館または領事館（以下、「在外公館」と

いう。)で本人が行います。申請してからビザが発給されるまでは、数日から1か月程度かかります。

手続きは国費留学生と私費留学生で異なります。以下確認の上、必要な手続きを行ってください。

(1) 国費留学生に採用された場合

入学のおよそ1か月前に、秋田大学からビザ申請に必要となる「受入証明書」を対象者へ送付するとともに、ビザ申請を開始できる日にちをお知らせします。この連絡を受けたら、パスポート等その他必要書類を揃えて、自国の在外公館でビザ申請をしてください。

なお、国費留学生として入学する場合は、以下に記載されている「在留資格認定証明書」は必要ありません。

(2) 私費留学生としての入学が決定した場合

ビザの申請には、「在留資格認定証明書」が必要です。本学の入学選考に合格し私費留学生としての入学が決定した方を対象に、秋田大学ではご本人からの依頼により、日本の出入国在留管理局へ「在留資格認定証明書」の代理申請を行います。「在留資格認定証明書」が交付されたら、秋田大学から申請者宛にメールで送付します。「在留資格認定証明書」を受領したら、パスポート等その他必要書類を揃えて、自国の在外公館でビザ申請をしてください。

(3) 在留資格認定証明書取得の手順

- ① 「合格通知書」を受領し私費留学生としての入学が決まったら、秋田大学国際課（以下、国際課という。）へメールにて連絡（申請者→国際課）
*メールアドレス：ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp（国際課）
*メールの件名は「在留資格認定証明書交付申請」とし、「合格通知書」のスクリーンデータを添付すること。
- ② 在留資格認定証明書の交付申請手続きに必要な書類のご案内（国際課→申請者）
- ③ 在留資格認定証明書の交付申請手続きに必要な書類の提出（申請者→国際課）
- ④ 在留資格認定証明書の交付申請（国際課→仙台出入国在留管理局）
- ⑤ 在留資格認定証明書の交付（仙台出入国在留管理局→国際課）
- ⑥ 在留資格認定証明書のメール送付（国際課→申請者）

(4) 注意事項

- ・「在留資格認定証明書」の申請から交付まで6～8週間程度かかります。
- ・手続きには時間がかかるので、私費留学生としての入学が決まったら早急に国際課に連絡してください。連絡が遅くなると、4月の入学式までに日本に入国できない場合があります。

○ビザ（査証）取得についての問い合わせ先

秋田大学国際課留学生交流・支援担当

電話：+81-18-889-2258

E-mail：ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

12. 入国前結核スクリーニングについて

入国前結核スクリーニングとは、スクリーニング対象国から、日本に入国・中長期間在留しようとする者に対して、入国前に指定健診医療機関において胸部レントゲン検査等を受け、結核を発病していないことを証明する資料の提出を求める制度です。詳細は厚生労働省のウェブサイトを確認してください。

入国前結核スクリーニングのウェブサイト

<https://jpets.mhlw.go.jp/index.html>

13. 国費外国人留学生の優先配置特別プログラムについて

総合環境理工学部では全学科・コースを「国費外国人留学生の優先配置特別プログラム」の対象としています。渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試の合格者で本プログラムへの申請を希望する者に対しては、別途オンライン面接を行います。詳細については本学部ホームページに掲載している本プログラムの説明を参照してください。

入学後の外国人留学生用宿舎について

本学には、下記の外国人留学生向けの宿舎があります。

*入居を希望する場合は、合格・不合格にかかわらず、あらかじめ申し込んでください。

宿舎名	部屋数	居室形態	居室面積	寄宿料（月額）	入居対象者	所在地
留学生会館	27室	単身室	約18㎡	5,900円	外国人留学生 (男女問わず)	秋田市広面字高田4番地
	3室	夫婦室	約35㎡	9,500円		
国際交流会館	A棟10室 B棟18室	単身室	約13㎡	A棟 5,900円 B棟 15,000円	外国人留学生 (男女問わず)	秋田市手形田中5番50号
西谷地寮	15室程度	個室	約18㎡	20,000円	日本人学生・ 外国人留学生 (男子学生)	秋田市手形字西谷地5-1

*寄宿料とは、大学に納める賃貸料（家賃）です。このほか、居住者が私生活のために使用する電気や水道などの経費を負担していただきます。その金額（月額）は、10,000円程度です。

(1) 外国人留学生用宿舎（留学生会館および国際交流会館）の申し込み方法

① 募集人員 留学生会館、国際交流会館ともに「数名」

② 申し込み方法について

「秋田大学外国人留学生寮入居申込書」、「パスポート写し」、「在留カード写し（ある場合）」を秋田大学国際課 ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp へメールで送付してください。

「秋田大学外国人留学生寮入居申込書」は以下からダウンロードしてください。

本学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/>)

大学トップ → 国際交流 → 海外から秋田大学への留学 → 留学中の生活に関する情報 → 様式ダウンロード → 留学生用

なお、外国人留学生用 宿舎申請の受付期間は、毎年2月1日～2月15日となります。申し込みについてのお知らせは、毎年2月初旬頃（予定）に本学ホームページ内「国際交流」の新着情報に掲載しますので、ご確認ください。

入居申込みについては、入学試験の可否に関わらず、上記受付期間となります。受付期間を過ぎてからのお申込みは受けませんので、ご了承ください。

③ 外国人留学生用宿舎（留学生会館、国際交流会館）に関する問い合わせ先

秋田大学国際課

電話 018-889-2258

E-mail ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

(2) 西谷地寮の申し込み方法

① 募集人員 「数名」

② 入寮案内請求および申し込みについて

入寮案内の請求期間、申し込み期間等に関する詳細は毎年1月上旬頃に大学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/>) でお知らせします。

入寮案内請求および申請については、入学試験の可否の発表に関わらず、上記ホームページにある請求期間および申し込み期間になりますので、ホームページで必ずご確認ください。

なお、入寮案内の請求期間および申し込み期間を過ぎてからの受付は、一切いたしませんのでご了承ください。

大学トップページの新着一覧および 受験生の方へ → NEWS & TOPICS に掲載します。

③ 西谷地寮（留学生分）に関する問い合わせ先

秋田大学学生支援・就職課 電話 018-889-2240

E-mail gakuseiryo@jimu.akita-u.ac.jp

(注) 外国人留学生用宿舎と西谷地寮との重複申請はできません。

総合環境理工学部理念・目的

総合環境理工学部は、環境問題に関連した科学技術に関する教育を強化し、グリーン人材養成に取り組むとともに、「総合知」の活用推進のために、分野横断教育を強化して専門性の枠を越えて共創できる能力を涵養します。さらに、変遷する地域・社会のニーズに対応するため英語教育の強化にも取り組みます。これにより、科学技術に関する確かな専門性を身に付け、かつ、幅広い視野を身に付けて他者と共創でき、持続可能社会の実現に貢献できる人材を養成します。

各学科・コースの概要

【応用化学生物学科】

応用化学生物学科では、人の健康を支える製薬業や医療機器関連企業、および脱炭素社会に向けて変革する化学関連企業などで複合的な問題を解決できる人材を育成するうえで、化学と生物学の両方の知識と技術を教育し、それらを応用する能力を身に付けさせ、化学と生物学の専門性の重みの異なる3つのコースで学生の専門性の志向に応じた教育を行います。

①生物学コース

生物学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度なバイオテクノロジーを修得するため、生化学、分子生物学、細胞生物学、生物化学工学などの生物学系専門分野を重点的に学び、人の健康や環境保全、バイオ生産における諸課題に挑戦する人材を養成します。

②有機・高分子化学コース

化学と生物学の境界領域としての有機化学と高分子化学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度な有機合成技術を基盤とする応用力を修得するため、有機化学、高分子化学、有機材料科学などの専門分野を重点的に学び、医薬品や農薬および化学素材の製造や化学的検査・分析における諸課題を解決できる人材を養成します。

③応用化学コース

化学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度な化学技術を修得するため、無機材料科学、電気化学、反応工学、エネルギー変換材料科学などの化学の専門分野を重点的に学び、クリーンエネルギーの創出、環境浄化、脱炭素化社会の実現における諸課題に取り組む人材を養成します。

【環境数物科学科】

環境数物科学科では、モデリングやシミュレーションから観測・実験で得られたデータの分析などを通して、気候変動など地球で起こっている様々な異変を地学の知識を発展させて理解し、数学の知識を用いてモデル化する能力を備え、材料の特性や機能を物理学の知識を駆使して理解し、半導体・情報通信関連機器の環境負荷低減に取り組む能力を備え、理論から応用に至る幅広い知識と理論的な思考力を基盤として環境問題などの社会の諸課題の解決に挑戦する人材を養成します。

①数理科学・地球環境学コース

数理科学と地球科学を柱として環境科学に学際的にアプローチする教育プログラムを構成します。数学の代表的な分野（代数学、幾何学、解析学、離散数学等）、理論物理学、地球科学の各分野において、基礎から発展的な内容まで教育し、各分野を専門とすると同時に共創の考え方を身に付けることで、地球の環境と持続可能社会の実現に貢献する人材を養成します。

②機能デバイス物理コース

機能性の高い材料の新規開発からそれを用いた低環境負荷型の電子デバイスの設計および評価に関する教育研究を推進します。材料の機能や用途、デバイスの動作原理や特性、そして材料機能と電子デバイス特性の相関を学ぶとともに、数理科学・地球環境学コースとの分野融合で効率化を目指します。これらを通して、材料の機能性や物性を把握して電子デバイスを設計する能力、デバイスのシステムや仕様を把握しながら材料を開発する能力を身に付けて活躍する人材を養成します。

【社会システム工学科】

社会システム工学科では、輸送機の電動化や社会インフラの整備など社会の持続的な発展を目指した教育研究を行い、持続可能な地球環境と社会システムの構築に貢献します。機械工学と材料科学・工学を基礎としたモビリティとその構成素材に関する専門性、電気電子工学を基礎とした脱炭素に寄与する電気システムに関する専門性、および人とまちを守る社会基盤に関する専門性を備えた、持続可能で豊かな未来社会を築く人材を養成します。

①モビリティコース

地球環境と調和した先進モビリティ開発のための要素技術・システム技術を身に付ける課程として、機械工学の基礎を成す四力学（材料力学、熱力学、流体力学、機械力学）に加え、モビリティを構成する素材の材料科学・工学までを網羅

した教育研究を行います。また、社会システム工学科の他2コースと連携して学際的融合を追求した教育研究を行うことで先進モビリティの設計・開発に貢献できる人材を養成します。

②電気システムコース

輸送機の電動化、再生可能エネルギーの社会導入などを目的し、知的な電気機器や制御システムの設計・開発、電気エネルギーの発生・変換・貯蔵・利用、人間と環境の関わるエンジニアリングデザインに関する教育研究を行います。電気電子工学を中心とする電気システム分野の専門知識を活用して、持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材を養成します。

③社会基盤コース

持続可能で強靱な地域社会を支える社会基盤の構築とその維持管理を目的として、環境負荷低減機能を重視した新たな地域社会基盤を創出する知識と技術を身に付けるための研究と教育を行います。(1)すべての人にとって快適な都市・地域社会の創造に関する知識と能力、(2)環境に適合した構造物の設計と施工に関する知識と能力、(3)水環境や地盤環境の保全と改善に関する知識と能力を素養として備えた人材を養成します。

教育制度の特徴

本学部では、入学から卒業までの間、担任制を導入して学生を指導します。1～2年次では教養に関連する科目、国際言語科目(英語)、データサイエンスの基礎、理工系の基礎となる科目など幅広い分野を学習します。1年次後期から各学科専門科目の履修を開始し、2年次後期からは専門教育コースに分かれます。学部必修科目、学科必修科目などを配置して特定の分野にとらわれず幅広い科学技術に関する知識を教育します。

また、高度な「専門知」を身に付けた人材養成を行うため、大学院修士課程までを視野に入れた「6年一貫教育」を想定し、高度な専門教育は大学院修士課程で実施します。

総合環境理工学部の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

[応用化学生物学科]

●求める人物像

1. 化学と生物学のいずれかまたは両方に興味を持つ人
2. 化学と生物学を基盤とした科学技術を修得し、人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針

理学や工学、特に化学、生物学分野に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、提出書類および日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[環境数物科学科]

《数理科学・地球環境学コース》

●求める人物像

1. 数学、物理学、計算機科学、地球科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

数学、物理学、計算機科学、地球科学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な科学者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、提出書類および日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《機能デバイス物理コース》

●求める人物像

1. 数学や物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 発展する科学技術の基礎となる磁性材料、電子・光学材料、半導体材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興

味がある人

3. 環境に調和した創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信機器などに興味のある人
4. 最先端の機能性材料・エレクトロニクス分野において，創造性を発揮して国際的に活躍する技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学選抜の基本方針

機能性材料・エレクトロニクス分野に興味を持ち，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[社会システム工学科]

《モビリティコース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識をベースとして工学の基礎学力を高めたい人
2. 力学，制御および設計を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化や環境にやさしい機械および再生可能エネルギー開発の分野に興味を持ち，深く学びたい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同じレベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，モビリティ，機械，材料分野の技術に強い興味を有する，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《電気システムコース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 脱炭素社会の実現に必要な輸送機の電動化や，再生可能エネルギーを積極的に導入したエネルギーシステムなど，環境と調和した社会システムの構築に寄与できる技術に興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端の電気システム分野の技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同じレベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，電気システム分野の技術に強い興味を有する，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《社会基盤コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と維持管理，ならびに発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同じレベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，社会基盤工学分野の技術に強い興味を有する，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

令和8年度秋田大学総合環境理工学部入学志願票

【渡日前私費外国人留学生入試】

記入は黒のインクまたはボールペンを使用し、
※印の欄は記入しないでください。(消せるボールペンは使用不可)

受験番号 ※

志望学科・コース	<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 機能デバイス物理コース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 モビリティコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 電気システムコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 社会基盤コース			該当事項を☑すること
ふりがな				写真貼付 (4cm×3cm) 写真の裏に、志望する学科・コースと氏名を記入の上、しっかりと貼ってください。
アルファベット表記				
氏名				
生年月日 性別	年 月 日 男 ・ 女			
国籍				
出願資格	最終学校所在地			学校名
	卒業(修了)年月日	年 月 日 卒業(見込み)・修了(見込み)		
	国際バカロレア資格取得(見込み)年月			年 月
	アビトゥア資格取得(見込み)年月			年 月
	バカロレア資格(フランス共和国)取得(見込み)年月			年 月
	GCEA資格取得年月			年 月
日本留学試験	2025年 6月 実施試験 受験番号 (※ ※) 日本留学試験受験地 ()			
TOEFLまたはTOEICのスコア	受験した試験の名称	受験した年月		スコア
			年 月	
現住所等	(郵便番号) 電話 () - () - () (住所) ※合格通知書等の受信場所を記入してください。 E-mail:			

履 歴 書

〈渡日前私費外国人留学生入試用〉

ふりがな		生年月日	年 月 日
氏 名		性 別	男 ・ 女
		国 籍	

学 歴

ク ラ ス	学校名・学校所在国名	修業年限	入 学 年 月 日	卒業（修了）年月日
初 等 教 育 (小学校)		年	年 月 日	年 月 日
中 等 教 育 (中学校および 高等学校)		年	年 月 日	年 月 日
		年	年 月 日	年 月 日
高 等 教 育 (大学等)		年	年 月 日	年 月 日
		年	年 月 日	年 月 日
以上を通算した学校教育の年数		年	_____	_____

特記事項（飛び級または繰り上げ卒業等）

日本語の学習歴

学 習 期 間	学 習 方 法
～	
～	
～	
～	

※学習方法の欄には、学習機関で学習したか、独学で学習したかを記入してください。

学習機関の場合は、機関名を記入してください。

職 歴 等

勤 務 先 の 名 称	勤 務 先 所 在 地	勤 務 期 間
		～
		～
		～
		～

注1)「ふりがな」の欄は、漢字氏名の者はアルファベット表記で記入してください。

2) 学歴は、在籍した学校をすべて記入してください。

3) 「飛び級」や「繰り上げ卒業」等の事実があれば特記事項の欄に記入してください。

4) 初等教育には、幼稚園および保育所は含みません。

5) 「日本語の学習歴」および「職歴等」の欄は、該当者のみ記入してください。

Air Mail

1-1, Tegata Gakuen-machi
Akita-shi 010-8502 Japan

Faculty of Integrated Science and
Engineering for Environments
Akita University

入学志願票等在中

渡日前私費外国人留学生入試

志望学科・ コース	<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 機能デバイス物理コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科 モビリティコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 電気システムコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 社会基盤コース
住所	電話 () - () - ()	
ふりがな 氏名		
出身学校名	電話 () - () - ()	

太枠内すべてを記入し、封筒に貼り付けて送付してください。

- 出願にあたっては、次の書類等を確認し、封筒に入れて送付してください。

***提出期限 2025年9月11日(木) 必着**

渡日前私費外国人留学生入試

	出願書類等	チェック欄
1	入学志願票【渡日前私費外国人留学生入試】	
2	受験票・写真票	
3	推薦書	
4	最終学校の卒業（修了）証明書および 学業成績証明書	
5	2025年度日本留学試験の受験票の写し	
6	TOEFLまたはTOEICのスコアレポート	
7	履歴書〈渡日前私費外国人留学生入試用〉	
8	パスポートの写し、本国の戸籍抄本または 市民権等の証明書	